

きよう提言素案提出

連合
品部
民討
自検

学識者と
意見交換 ヒアリング日程終了

自民党の「公共工物品
質確保に関する議員連
盟」の制度検討部会（金
子一義部会長）は14日、
党本部で6回目の会合を
開き、桐蔭横浜大学の郷
原信郎、鈴木満の両教授
と意見交換を行った。入

「経営事項審査（経審）
は形式的で意味がない」
などと指摘した。また、
「会計法のような化石の
ために法律をベースにし
た予定価格の存在もおか
しい」とし、総合評価方
式で業者の提案をもとに
予定価格を作成する仕組
みについても異論を述べ
た。

地方自治体発注工事の
データを示しながら「落
札率が低くても、発注者
の検査頻度が増えるた
め、工事成績の平均は良
い」と説明した鈴木教授
に対して、出席議員が
「低価格入札の業者の工
事は発注者に負担がかか
る」と指摘したところ、
鈴木教授は「手間をかけ
るのは発注者の当然の責
務」と一蹴。

落札率の低さと工事成
績の低さに相関関係があ
るとの指摘についても、
「国土交通省に昔問い合
針だ。

わせたときは無関係とい
っていた。安値受注問題
が話題になった1年前に
突然現れた理屈だ」と述
べた。

昨年打ち出した緊急公
共工物品質確保対策の根
拠を覆された格好の国交
省は、工事成績が49点だ
った建設業者が安値応札
を繰り返している実態を
示すなど、17日の議連総
会までに理論武装する方